



同窓会会報 第9号  
 発行/東京都立永山高等学校同窓会  
 〒206-0025 東京都多摩市永山5-22  
 TEL 042-374-9891  
 FAX 042-371-5615  
 HP <http://www.nagayama-obog.jp/>  
 編集・印刷/ 永山同窓会事務局  
 〒121-0831 足立区舎人3-11-26 EPS  
 TEL 03-5839-3456代  
 FAX 03-5839-3460

校歌

作詞 志賀 義雄  
 作曲 平吉 毅州

一、春甦る 多摩の丘陵

希望みなぎる 若人が  
 真理求めて 集いたり  
 われら永山 われら永山  
 豊かなる 知性磨かん

二、紅葉綾なす 多摩の丘陵

たぎる血潮の 若人が  
 あつき友情 育てゆく  
 われら永山 われら永山  
 限り無き 情熱燃やさん

三、白樺高き 多摩の丘陵

力あふるる 若人が  
 理想めざして 進みゆく  
 われら永山 われら永山  
 逞しき 意志鍛えん

永山高校同窓会定期総会

本年(平成29年)は定期総会開催年となります。

日時: 6月10日(土)

受付 14:00 総会 14:30 懇親会 15:30

場所: 京王プラザホテル多摩 アポロの間  
 京王線・小田急線・多摩モノレール  
 多摩センター駅下車 徒歩約3分

会費: 6,000円(未成年は3,000円)

出欠席の返事は同封のフォームにて  
 5月31日(水)までにFAXまたはQR  
 コードから下さるようお願い申し上げます。



「ご挨拶」

会長 奈良崎久和 (三期生)

会長を務めさせていただいております。三期生の奈良崎久和です。会報九号の発行にあたりご挨拶させていただきます。日頃より同窓会活動にご理解・ご協力いただき感謝いたします。また、名誉会長でもある西村校長先生・顧問の小原副校長先生・PTA・OB会、PTAのみなさまに重ねて御礼申し上げます。私たち同窓会は、一九七五（昭和五十）年、一期生の卒業と共にスタートし、途中十数年の活動を休止の時期を経て、今年で四十三年目。卒業生も一万四千人を数えるまでになりました。一期生のみなさんは二十八年度に還暦を迎えました。年齢層もさまざまですが、四号で紹介した三十一期生の日本フライ級チャンピオン黒田雅之さん、五号で紹介した歌手の三期生の長澤かおるさん、六号で紹介した八期生の蝶野正洋さんなど各分野で第一人者として活躍しているメンバーもたくさんいます。創立三十周年を前に活動を再開した新生同窓会も創立五十周年に向け、同じ学び舎で青春時代を過ごした仲間との絆を深め、後輩を支援するための活動に取り組みんでいます。ホームページなども活用し、少しでも同窓会・学校の様子を伝えるとともに、同期会やクラス会の案内などタイムリーな話題

の提供にも努めていきたいと思えます。今年度は二年に一度の定期総会を六月十日（土）京王プラザホテル多摩で開催します。総会が各期各クラスなど旧交を温め、未来につながるればこれ以上の喜びはありません。この十数年学校と関り、また息子も同窓生で卒業後八年目になります。母校も落ち着いて学業やクラブ活動に取り組む環境が整ってきていることを実感し、同窓生の一人としてとても本心に嬉しく思っています。生徒と教員の「やる気」が呼応して良い結果を生んでいると思います。また、「永山高校後援会」をPTA、PTA・OB会及び同窓会で平成十八年に立ち上げ九年目を迎えます。力を合わせ創立五十周年へ、さらに飛躍する母校・そして在校生を、応援していきたいと考えています。新しい時代に入った母校とともに、未永く本同窓会が続いていけるよう、役員全員で心を合わせて運営にあたらせていただきます。行き届かない点もあると思います。が、同窓生のみならず、今後とも格別のご理解・ご協力をいただきます。どうぞ心よりお願いいたします。



「同窓会の皆さまへ」

校長 西村伸二

皆さまにおかれましては、日々ますます御清祥のことと存じます。平素より本校の教育活動に対し、多大なる御支援を賜り厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、過日第二十九期卒業の平野修也様並びに第三十一期卒業の小林哲郎様お二人の同窓生をお招きし、「十年後、何をしていますか？」

「水泳をずっと続けてきて、辛いことの方が多いか」と多かったです。純粋に水泳が好きだったから「だ」という平野様の言葉が印象に残りました。さらに人間の可能

性について「よく無限だ、と人はいふけれど、僕はそうは思わない。どんなに努力しても叶わないことだ。だってある。でも、やってみなければどこが限界なのか分からない。」とも話されていました。偉大な先輩が話す言葉の重みを生徒たちは噛みしめている、と私は感じました。

各界で活躍なさっている同窓生を御存知の方は、ぜひお知らせください。在校生にとつて希望の灯りとなり得る可能性が秘められている、そのような方々が話す言葉こそ本校が掲げる目標の一つである。「卒業した後、自ら進んで学び続けようとする姿勢を育てる。」ことにつながると思っております。同窓生の皆さま、今後とも変わらぬ御支援をお願い申し上げます。



# 永山高校の今 . . .



園芸部



文化祭



中夜祭



宿泊防災訓練



写真部応募作品



奉仕活動 落葉掃き



吹奏楽部



学校説明会



卒業生講演会

平成二十八年四月、白野先生の後任として参りました小原（おはら）と申します。どうぞよろしくお願ひいたしました。都立高校の教員になった三十年前、採用面接で永山高校からお声をかけていただきました。結果は不採用でした。その後、運よく他の都立高校に採用され教員生活をスタートさせました。当時の永山高校の女子バレーボール部を都立の強豪校に育て上げた池田稔明先生、第七代校長の田中昭光先生は、私の初任校の教頭先生であり、多くのご指導をいただきました。また保健体育科の横井健一先生にも同じく初任校でよき先輩として面倒をみていただきました。このように永山高校に所縁のある先生方にご指導いただきながら、三十年の時を経て永山高校に着任したことに不思議な縁を感じています。「三十年修行を積んでから永山に来い！」と言われたんだと今、思っています。

休日、学校に来ると多くの部活動が活発に活動しています。生徒の加入率は約七十%です。運動部では、硬式野球部、サッカー部、硬式テニス部、男女バスケットボール部、男女バレーボール部、剣道部等が、また文化部では吹奏楽部を中心に土日にも熱心に活動しており、永山高校の特色の一つである「部活動から学ぶ永山高校！」は今も健在です。生徒の姿を見ていると、私も高校時代（サッカー部でした）に練習試合で永山高校を訪れた日のことを思い出します。

部活動だけではありません。定期考査の前や長期休業中に補習や講習に参加し、勉強している生徒もいます。現在、一時期の評判の悪かった時代から規律ある地域からも信頼される学校に変わってきています。生徒たちが「永山高校に入学して良かった。」と感じ、さらに卒業後も「私の母校は永山高校です。」と胸を張って言えるような学校（秦学び舎紳）にしたいと思っております。

今年度で永山高校も創立四十五年目を迎えました。五年後には五十周年という節目の年を迎えます。生徒や卒業生は勿論、保護者や地域の方も含めた多くの方々が誇りに思える秦学び舎紳を目指し、同窓会の皆様のご支援を賜りながら微力ではありますが、同窓会の皆様に協力してまいります。今後ともご協力のおかげで、宜しくお願ひいたします。



「着任のご挨拶」  
副校長 小原孝太郎

「私も同窓生」VOL.8 劇団四季の舞台に立つ36期生

今回ご紹介するのは、三十六期生の多比良龍一さんです。多比良さんは、現在、劇団四季の舞台に立っています。永山高校三年生の夏、友達と見た「ハイスクール・ミュージカル」というデイズ二のTV映画に、感動すると同時に「自分でも」と思ったそうです。中学時代から永山在学中、吹奏楽に打ち込んできた多比良さん、高校時代の思い出もほとんど吹奏楽部でのことばかり。急な進路希望の変更でしたが、推薦で尚美ミュージックカレッジ専門学校に進みました。音楽や歌には多少自信があつたのですが、ダンスなどは全くの素人。ミュージカル学科での基礎のバレエレッスンや、ジャズ・タップ・モダンなど、とにかくついていくのがやつと。

二年目に入り、ようやく何となくつかみ始め、得意分野に磨きをかけていく中で自信につながったとのこと。少数精鋭の男子を引き上げてくれた恩師や仲間たちにも恵まれ、公演でもさまざまな役に挑戦。次男と中学・高校と同級生だったこともあり、筆者も多比良さんの在学中、夏の公演や卒業公演を見せていただきましたが、とても専門学校での公演とは思えないレベルのハイショーに、さすがにその道のプロフェッショナルを目指す人たちだと感動したのを覚えています。

進路選択の時も、当初決まっていた人がキャンセルしたためサンリオピューロランドへのチャンスが巡ってきました。卒業公演とプレオーディションを両立させ、みごと就職が決定。しかし喜びもつかの間、ダンスなどで自信をなくし二年半は葛藤の日々。「さすがにメンタルをやられました」

と。その後ショーがリニューアルしたアンサーとしてお客様の目の前で表情を見ながら踊れることの楽しさを感じてきた中、徐々にファンも付いてきたそうです。

一昨年の暮れに退職し、先輩のつながりで「劇団四季」の外部オーディションに挑戦し見事採用。四季に入ってから練習の日々に。その後「リトルマーメイド」での出演が決まりましたが、男性アンサンブルでの出演のため、さまざまな役でほとんど出ずっぱりで、衣装替えも含め練習も多岐にわたりました。

そして昨秋、東京公演で念願の初舞台、その後名古屋の四季劇場の皮切り公演に参加、現在も名古屋の舞台に立っています。筆者も二月半ばに名古屋の舞台を見に行きました。彼の出演の舞台を予め聴いていたので、彼を中心に見たので、これまで見た四季の舞台とは違う感覚でしたが楽しく拝見しました。本当に素晴らしい舞台でした。

ミュージカルをやりたいと決意してから七年あまり。先日取材でお会いした時、彼の口から何度も出たのは「感謝」という言葉でした。たくさんの苦勞と、専門学校やピューロランド、そして劇団四季で縁をした多くの方たち、まさに「人」に恵まれて今の自分があると「感謝」の気持ちを忘れずに頑張っています。

お世話になった人への「報恩」の心で取り組んでいる彼は、これからもきつとみんなに可愛がられ、自分の道を歩んでいけると確信しています。また、私たちも心から応援したいと思います。

(文責 奈良崎久和)



奈良崎信二さん、多比良龍一さん



奈良崎信二さん、多比良龍一さん、加藤副会長、林さん、奈良崎会長、(撮影:平田江里さん7期生)

黒田雅之 暫定王者

黒田選手、二階級制覇おめでとう！三十六期生で元プロボクシング日本ライトフライ級チャンピオン黒田雅之選手が、去る二月二十八日後楽園ホールでのチャンピオンカーニバルで、見事3-0の判定で日本フライ級王座に見事返り咲きました。



同窓会では、ライトフライ級チャンピオンになった時から、四度の防衛戦、王座を返上して挑戦した世界初挑戦(残念ながら判定負け)、復帰してからの二度のタイトル挑戦(いずれも敗戦)、再起戦とずっと応援してきました。今回はそんな苦勞の中でつかんだチャンスを、同級一位の選手との、暫定王座決定戦でした。このところ五連勝していた上り調子の相手選手でしたが、常に先に手を出し、もみ合いでも押し負けず気迫のこもった試合でした。観戦しながら、思わず大声で応援し、観戦をやられましたが、二階級制覇を成し遂げ感無量でした。

再起をかけた地道に重ねてきた努力が報われたことに、心からおめでとうと言いたいと思います。チャンピオンに返り咲いた今、これから勝負です。近年のボクシング選手は、三十歳を過ぎてから花が咲く選手も少なくないと思います。黒田選手は三十歳、体に気を付けてこれからも頑張ってください。

第43回卒業証書授与式に出席して

三期生 林ゆきの(加藤)
平成二十九年三月九日(木) 暖かな陽ざしの中、第四十三回卒業証書授与式が行われました。

当日は会長・副会長が出席できないため私が代理として出席させていただきました。
大きき不安と緊張感を抱きながらの出席となりました。私が代理でいいのかしら？会長から預かった祝辞はちゃんとして代読できるかしら？壇上への階段は転ばずに昇降できるかしら？などと考えるにつ、それでも私の感情などお構いなしに式は着々と、そして厳かに進行し、無事三〇六名が永山高校を巣立って行きました。

思い出せばちょうど四十年前、私自身もこの体育館で卒業証書を手に永山高校を巣立ちました。
式が執り行われている間、自身の卒業式を思い出しても感慨深い思いでいっぱいになりました。
二時間ほどの式が終わり何とか無事？に代役を務めた私は、今日卒業した三〇六名の生徒たちに明るい未来がある事を祈りつつ、帰路につきました。



第42回卒業証書授与式

吹奏楽部定期演奏会に参加して

二〇一七年四月九日(日) 吹奏楽部の第三十五回定期演奏会を聴いてきました。

会場のパルテノン多摩・大ホールで開催された演奏会は三部構成となっており、一部は吹奏楽部のオリジナル・ステージとなっており、吹奏楽部のきれいな演奏が印象的でした。二部はマーチングショーの構成となっており、動きも激しく、規則正しい動きが目を見張りました、観客も手拍子で答え会場一体となった演奏でした。
三部は懐かしい曲から最近の曲までを演奏して非常に楽しい時間を過ごしました。

演奏会は三月に卒業を迎えた生徒と新三年生、新二年生と卒業生を加えた非常にチームワークのとれた演奏を聴かせてくれました。
今年の吹奏楽部の活躍に期待が持てる演奏会でした。
ぜひ、同窓生の皆様も来年の定期演奏会へお越しください。よろしくお願いいたします。



役員紹介

第九回定期総会にて承認された役員です。力を合わせて頑張りますのでご協力をお願いいたします。

Table with 25 columns (numbered 1-25) and 2 rows. The first row lists roles (e.g., 役員, 名誉会長, 顧問, etc.) and the second row lists names (e.g., 西村伸二, 小原幸太郎, etc.).

事務局からのお知らせ

このページは、永山高校を卒業された会員の皆様のページです。同期会やクラス会、また、クラブのOB会などの告知や報告の場として活用してください。卒業生の名簿の開示については、同窓会ホームページをご覧ください。
会報は毎年発行する予定です。現在の永山高校の情報や同窓生相互の連絡の場として、この会報が皆様のお役に立てれば幸いです。
これからは誌面のなかで、さまざまな分野でご活躍の同窓生も紹介したいと思います。40周年を迎えるためにも、皆様からの情報をお寄せください。なお、6ページに事務局の案内がありますのでよろしくお願致します。
今年(平成29年)は定期総会開催年となります。日程は6月10日(土)、場所は京王プラザホテル多摩で開催致します。
同期会やクラス会を企画して総会への出席をお願い申し上げます。詳細は同窓会ホームページ及び本誌1ページにてご案内を致します。
ぜひ、同期やクラスの同窓生にお声がけをして出席いただきますようよろしくお願い申し上げます。

広告募集

来年度(10号)会報に会社やお店の広告を掲載しませんか?
料金は10,000円です。
多数の応募をお待ちしています。
同窓生の皆さん宜しくお願い致します。
お問い合わせ先
同窓会事務局 ☎ 0120-10-9899
(東京都立永山高等学校内) (内線90)
平日10:00~17:00

同封物の見方

- 1** あなたの整理番号です。
- 2** 現在、同窓会でお預かりしているあなたの情報です。
- 3** 変更のある方はいずれかをご利用下さい。
  - ①フリーダイヤル
  - ②フリーFAX
  - ③QRコード(携帯電話)
- 4** 現在、住所が判らず会報誌がお届けできない方々です。ご存じの方は、フリーダイヤルかフリーFAXまでご本人よりご連絡いただけるようお願い下さい。
- 4** 賛助金の振り込み用紙です。ご協力お願いします。

**賛助金の振り込み用紙です。ご協力お願いします。**



## 同窓会サポーター募集 (賛助金募集)

同窓会の運営は、おもに卒業時の終身会費で賄っているのが現状です。少子化により卒業生が減る中、今後の永続的な同窓会活動を続けていくためにも、会員の皆様にこの状況をご理解いただき賛助金には是非ご協力をお願いいたします。同封の振込用紙にてお近くのコンビニエンスストアもしくは郵便局でお振り込みいただければ幸いです。サポーター制度は多くの方々にご協力いただいています。心より感謝いたします。

**1口 2,000円** (振込手数料同窓会負担)  
 ※2口以上ご協力いただける方は、お手数ですが金額訂正の上郵便局にてお振り込みをお願いします。

## 同窓会事務局

フリーダイヤル  
**0120-10-9899** (内線90)  
 平日 10:00~17:00  
 フリーFAX  
**0120-10-9184**  
 (終日受付)